

2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	一般社団法人 ADI 災害研究所
活動テーマ	発達障がい児や子どもにもわかりやすい防災教育教材の作成



地球温暖化等により風水害が毎年各地で起こっているため、正しい知識を持ち、いざというときどう行動して自分の身を守るかを学ぶ防災教育がますます重要となっています。風水害といっても、大雨、暴風、高潮、雷など様々な事象があるので、今回は、特に大雨に着目して、気を付けてほしい注意点を中心に作成することとしました。

今回の目的として発達障がい児や小さな子どもにもわかるということを考えているため、紙芝居では 15 枚程度で、動画もおおむね 10 分程度として、集中して最後まで聞けるように内容を厳選しました。

また、障がい児や小さな子どものご家族の意見を聞き、大雨が降ったとき、どんなことが怖いのか、保護者としてどんなことが不安か等を確認して、内容を決め、子どもたちにわかりやすい表現となるよう工夫して、イラストとシナリオを作成しました。

イラストを描いてくれるイラストレーターとは、何度もラフ案で雰囲気などを確認して仕上げていきました。紙芝居は、前回の地震の紙芝居に引き続き、保育園や幼稚園など児童施設や子どもへの防災教育を行っている団体等へ配布します。

紙芝居の内容を元に動画を作成し、児童施設の他、防災教育を行っている団体やメディアで配布します。紙芝居で、小さな子どもや障がい児たちが、大雨や落雷のときに、自分の身を守るためにどんな行動を執ればよいか、知ってもらい機会を持つことを考えています。